



令和4年8月臨時会・9月定例会 第144号

議会だより

佐々町議会HP
QRコード



◆ 目次 ◆

- 令和3年度決算特集 2～3
- 8月臨時会・9月定例会報告 4～5
- 委員会報告（総務厚生・産業建設・新庁舎建設） 6～7
- 賛否表 8
- 一般質問 5人が町政を問う 9～14
- 県要望活動・川棚町議会視察研修 15
- 町民の皆様からの声など 16～17
- 議会日誌・編集後記 18

は全会計認定

9月定例会
のあらまし

令和3年度各会計の決算状況

単位：千円

会計別	歳入	歳出	差引額
一般会計	8,236,017	7,873,784	362,233
国民健康保険特別会計	1,496,764	1,471,629	25,135
国民健康保険診療所特別会計	13,762	12,027	1,735
介護保険特別会計	1,274,467	1,242,773	31,694
(保険事業勘定)	1,270,826	1,239,702	31,124
(サービス事業勘定)	3,641	3,071	570
後期高齢者医療特別会計	168,420	168,162	258
農業集落排水事業特別会計	2,563	271	2,292
水道事業会計			
収益的収支	374,872	262,487	112,385
資本的収支(注) 1	122,482	303,835	△181,353

(注) 1 不足する1億8135万3千円は、損益勘定留保資金、減災積立金、当年度消費税及び消費税資本的収支調整額で補填されている。

公共下水道事業会計			
収益的収支	946,026	833,668	112,358
資本的収支(注) 2	146,748	484,767	△338,019

(注) 2 不足する3億3801万9千円は、損益勘定留保資金、減災積立金、当年度未処分利益剰余金処分額及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填されている。

【使われた主な事業】

○建設事業

保育所等施設整備事業費補助金、大新田排水機場補修、第4分団消防詰所建替工事
佐々駅舎改修工事、口石小学校多目的室改修
役場庁舎建設のための地質調査・基本設計・実施設計業務委託
佐々クリーンセンター基幹的設備改良工事のための工事発注支援業務
千本公園の遊具及び四阿（あずまや）の改修、小浦駅前公園整備工事
町営住宅屋根外壁改修工事設計業務、橋梁長寿命化対策工事
町道・林道路肩伐採工事 など

○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

飲食関連事業者等支援給付金・営業時間短縮要請協力金・飲食店応援給付金
子育て世帯への保育料軽減事業・各種証明書コンビニ交付事業・学生応援給付金 など

監査委員の意見

一般会計

財政収支の均衡は、保たれている。
基金が減少していくことが予想される。
計画的な基金の運営に努められたい。
自主財源の確保に努められたい。
私債権管理条例が、令和5年4月1日から施行となるので、実態調査や台帳整備等、適正な管理を求めらる。
使用料・手数料の見直し、財産の活用など税収以外の自主財源の確保、依存財源の確保、費用対効果の検証や補助金事業の見直しなど歳出削減に取組み、行財政運営を推進していただきたい。

決算審査特別委員会を9月26日から30日までと10月7日に開催し審査を行い、原案どおり認定としました。
本会議最終日の10月14日に委員長報告のとおり全会計を認定しました。

令和3年度決算

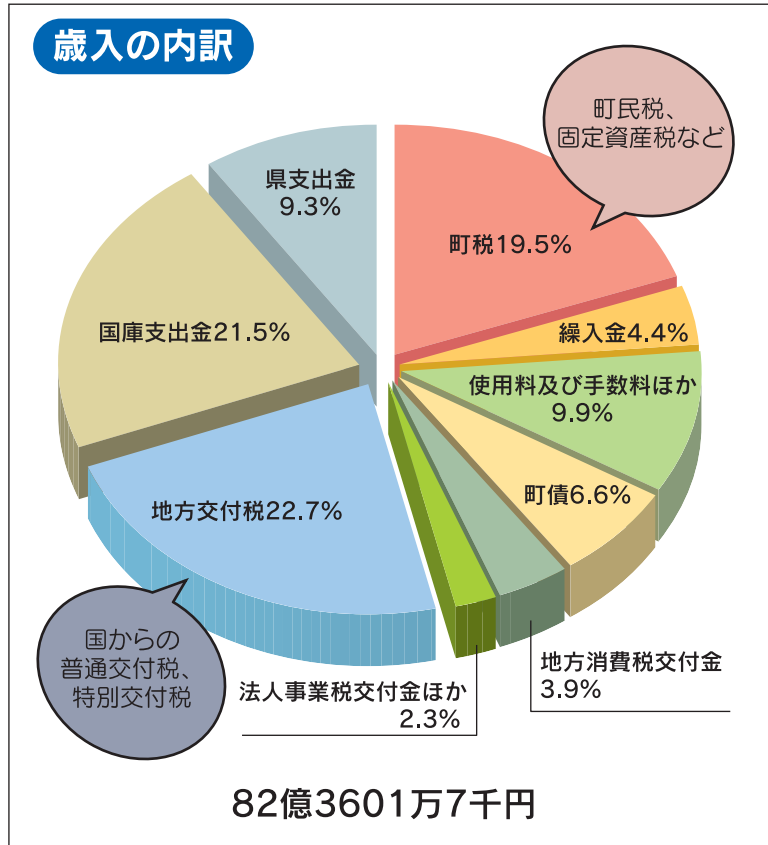
一般会計決算

歳入の内訳

単位：千円/%

款別	決算額	%
町税	1,602,542	19.5
繰入金	364,290	4.4
分担金及び負担金	812,935	9.9
使用料及び手数料		
財産収入		
寄附金		
繰越金		
諸収入		
町債	539,500	6.6
地方消費税交付金	324,301	3.9
地方譲与税		
利子割交付金		
配当割交付金		
株式等譲渡所得割交付金		
法人事業税交付金	185,700	2.3
環境性能割交付金		
地方特例交付金		
交通安全対策特別交付金		
地方交付税	1,871,477	22.7
国庫支出金	1,771,895	21.5
県支出金	763,377	9.3
歳入合計	8,236,017	100.0

歳入の内訳

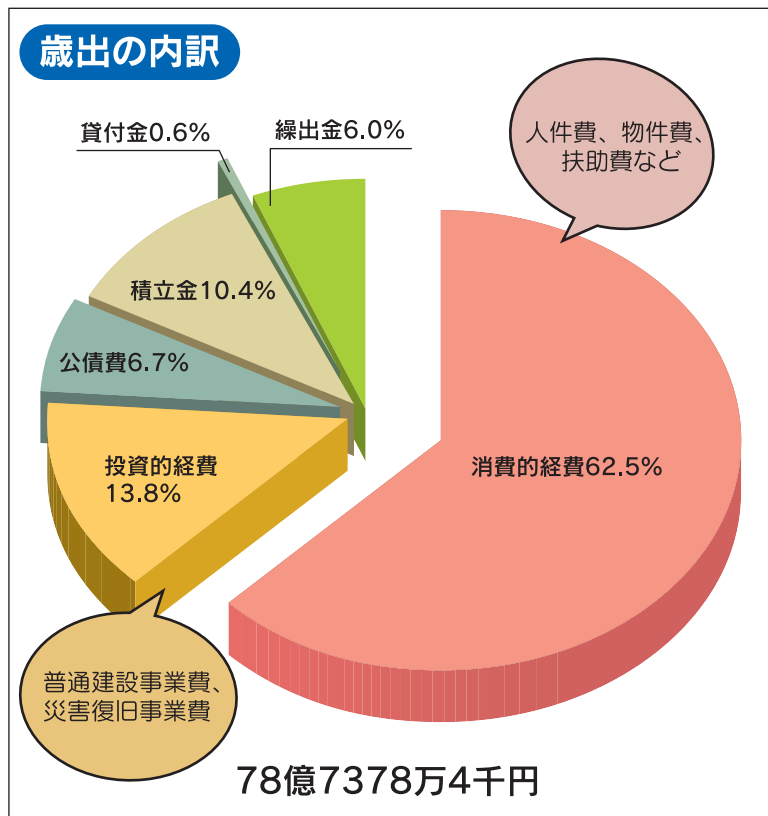


歳出の内訳

単位：千円/%

区分	決算額	%
消費的経費	4,919,397	62.5
・人件費	1,036,517	13.2
・物件費	907,707	11.5
・維持補修費	34,538	0.4
・扶助費	1,794,198	22.8
・補助費等	1,146,437	14.6
投資的経費	1,087,723	13.8
・普通建設事業費	1,046,729	13.3
補助事業	617,991	7.8
単独事業	422,610	5.4
県営事業負担金	6,128	0.1
・災害復旧事業費	40,994	0.5
公債費	525,384	6.7
積立金	817,045	10.4
貸付金	50,446	0.6
繰出金	473,789	6.0
歳出合計	7,873,784	100.0

歳出の内訳



8月臨時会・
9月定例会で審議
したこと

8月臨時会は8月30日1日間の会期で開催され、町民体育館屋根外壁改修工事の工事請負契約締結議案が上程され、可決されました。

9月定例会は9月20日から10月14日まで決算審査を挟んで25日間の会期で開催されました。19件の議案が上程され、全議案とも可決されました。主な内容は中学校バリアフリー・庁舎事業費などの補正予算が可決され、教育委員会委員の人事案件1件を審議し、同意しました。また、請願2件、意見書3件が提出され可決。令和3年度の決算認定については、各会計8議案が決算審査特別委員会に付託され、特別委員会を6日間にわたって開催し、いずれも認定となりました。

一般会計補正予算 **可決**

中学校バリアフリー化・ 庁舎建設事業など

令和4年度一般会計補正予算（第7号）

追加した主な事業	補正額
中学校バリアフリー化工事実施設計業務	2,450千円
町内私立保育園等、副食費物価高騰対策支援事業	1,988千円
肥料・粗飼料価格高騰対策支援事業	4,500千円
学校給食物価高騰対策事業	1,500千円
中学校B棟床改修・止水板設置事業	900千円
地域交流センター空調設備設置工事	28,000千円
公民館音楽室エアコン取替工事	2,000千円
庁舎建設事業	△600,000千円

主な内容

中学校バリアフリー化工事 実施設計

バリアフリー法の改正により、障がいのある児童生徒等の教育環境を充実させるため、学校施設のエレベーター・スロープ等の設置を迅速に進める。国庫補助を活用し、優先的に中学校の段差を解消し、スロープを整備する。

町内私立保育園等、副食費 物価高騰対策支援事業

保育所における副食費の質と量を確保するため10月から3月まで、物価高騰による食料費の上昇分14%を支援。

肥料・粗飼料価格高騰対策 支援事業

令和4年度の高騰している農業用肥料、粗飼料の購入費の一部を補助し、町内農業経営者を支援。

学校給食物価高騰対策事業

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して高騰する食材費の増額の負担を支援し、保護者負担を増やすことなく栄養バランスや量を保った学校給食の実施を目的とした補助金を交付する。

佐々中学校B棟1階床改 修・止水板設置工事

B棟1階の腐食がみられた更衣室と美術準備室の床を改修。

地域交流センター1階多目的 室空調設備設置工事

災害時の避難所や施設利用者の環境改善を図るため、天井埋込型のエアコンを12基設置。

公民館音楽室エアコン取替 工事

本年7月に故障。取替工事をする。

庁舎建設事業

新庁舎建設に係る全体事業費を現在の物価情勢に合わせて設計単価を用いて再試算、一定の追加補正が必要となった。令和4年度から令和7年度までの継続費として、3億2,000万円の追加補正。令和4年度分については、庁舎建設工事の工期変更等にもない6億円の減額。

人事案件

佐々町教育委員会 委員の任命について 同意

新任 荒木 みちるさん

(任期)

令和4年10月1日

4年間

可決された条例

佐々町議会議員及び佐々町 長の選挙における選挙運動 の公費負担に関する条例の 一部改正の件

最近における物価の変動、選挙等の執行状況等を考慮し、選挙等の円滑な執行を図るため、選挙時における公費負担の限度額の改正を行うもの。

職員の育児休業等に関する 条例の一部改正の件

仕事と育児の両立の難しさ等の理由により、出産・育児の際に離職する女性が多く、男性の育児休業取得率が低い状況を改善するため、取得回数を拡大するもの。

8月臨時会

議案第57号

町民体育館屋根外壁改修工 事の工事請負契約締結の件

平成2年度に体育館全体の外壁塗装工事、平成9年度に南側外壁防水工事を行っている。経年劣化による屋根及び外壁の塗装の剥がれやひび割れにより、防水機能が低下し雨漏りが発生している。今後、壁内部への浸食及び屋内アリーナの腐食が懸念されるため、屋根の外壁改修工事を行い施設の長寿命化を図るもの。

- 契約金額：
1億1363万円
- 工期：180日間
(9月～2月の予定)

消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書

2023年10月のインボイス制度（適格請求書）導入に向けて、昨年10月からインボイス発行事業者の登録申請が始まった。

これまで、年間の売り上げが1,000万円以下の業者は消費税の納税を免除されてきた。しかし、インボイス制度は消費税を販売価格に転嫁できない零細業者にも課税業者になることを迫っている。

免税業者を取引から排除しかねないインボイス制度は、事業者間の取引慣行を壊し、免税点制度を実質的に廃止するものである。

このため日本商工会議所や全国中小企業団体中央会、日本税理士会連合会ははじめ様々な団体・個人から、制度の廃止や実施延期を求める声が上がっている。

多くの中小零細事業者は、コロナ危機の下、事業継続、雇用維持に懸命に取り組んでおり、インボイス制度への登録、経理変更準備にとりかかる状況ではない。

これ以上の負担を課すことは、コロナ禍からの経済再生を阻害することにもつながる。

よって、国及び政府においては、中小零細事業者や個人事業主の事業存続と再生のために、下記の事項について要望する。

記

1. 消費税インボイス制度の実施は延期すること。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和4年9月22日

長崎県佐々町議会

意見書・可決

- 消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書
- ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書
- 地方財政の充実・強化に対する意見書

委員会報告

総務厚生委員会

8月8日(月)

【所管事務調査】

1. 条例等について

① 佐々町議会議員及び佐々町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

○ 町の選挙時、公費負担価格の改定を行うもの。

【その他報告】

1. 西九州道路4車線化工事に伴う町有地貸付について

○ 掘削土の仮置き所としてサン・ビレッジさざ北側町有地を貸し付けているが、貸付期間を当初予定から一年間延長する。計画以上に搬入量が増加したとの説明。

2. 子ども・子育て会議の答申内容について

4. 佐々町し尿等前処理施設建設工事事業者選定にかかる進捗状況について

○ 工事入札条件書について報告を受けた。

5. キャッシュレス決済導入について

○ 税財政課窓口・住民福祉課窓口・保険環境課窓口・公民館窓口・サン・ビレッジさざ窓口について令和4年10月1日より運用開始する予定。

8月29日(月)

【所管事務調査】

1. 条例等について

① 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

○ 人事院規則改正に伴う改正として、取得回数拡大する内容。

◇ 取得状況は令和3年で女性職員2名・男性職員0名で推移。環境整備が整っていない。

【その他報告】

1. 各施設の電気料金に大幅な増額となる見込

○ である。(年額7820万円増)

2. 防火水槽用地(神田地区)の取得について

○ 神田地区において、民地のまま設置されてきた用地を今回購入予定。

3. 公共施設等総合管理計画の改訂について

4. 多世代包括支援センター窓口・執務室等の見直しについて

5. オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種体制確保について

6. 佐々町高齢者外出支援タクシー助成事業の実施状況について

○ 4〜7月までの利用・住民アンケート等に関する報告。

7. コロナ禍における原油価格・物価高騰対応について

8. マイナンバーカードの普及状況について

産業建設文教委員会

7月29日(金)

6月定例会において産業建設文教委員会付託

請願第1号 消費税インボイス制度の実施延期を求める請願書について

【その他報告】

1. 学校給食施設整備について

建設地の選定も同時に検討を進め、令和6年度の建設を目指したい。

8月4日(木)

【所管事務調査】

1. 幼児・学校・社会教育及び整備について

学校施設のバリアフリー化について、バリアフリー法の改正などにより、障がいのある児童生徒などの教育環境を充実させるため、町内小中学校それぞれにエレベーター、

○ 長崎県内平均が45・4%、佐々町は50・85%で県下市町のうち4番目の普及率となっている。

3. 佐々町洪水・土砂災害ハザードマップについて

4. 配水管更新工事に係る業務遅延及び事故未報告について

5. 佐々町し尿等前処理施設建設工事業者選定に係る進捗状況について

9月1日(木) 【所管事務調査】

1. 農林業について

佐々町肥料・粗飼料価格高騰対策支援事業費補助金について、9月8日に委員会を開催し、再度調査

2. 事業の進捗状況調査について

投資的事業の進捗について、建設課、水道課、農林水産課、教育委員会からの説明。

【その他報告】

1. 佐々町洪水・土砂災害ハザードマップについて

2. 佐々町農林商工業振興事業(林業振興事業)費補助金について

3. 学校給食物価高騰対策事業費補助金について

4. 教育委員会所管工事について

9月8日(木) 【所管事務調査】

1. 佐々町肥料・粗飼料価格高騰対策支援事業費補助金について

この補助金は、令和4年度に高騰している農薬用肥料と粗飼料購入費の一部を補助し、町内の農業経営の支援を目的とする。

【その他報告】

1. 佐々町農林商工業振興事業(林業振興事業)費補助金について

2. 農業資材価格高騰対策緊急支援事業について

この事業は県が行う事業で、燃油や肥料等の使用量を少なくするための機械導入に対する補助金分。

10月11日(火)

新庁舎建設に関する調査について

新庁舎建設事業の経過および今後のスケジュール

新庁舎建設に関する調査特別委員会

原則にのっとり、建設物価等単価を採用していた。

○鉄骨の原材料の鉄鉱石は輸入に頼っており、価格高騰の影響を受けた。

○円安・インフレの影響を受けた。

○コロナ禍での人手不足での工賃高騰の影響を受けた。

など理由があがった。

A 鉄骨について県基準での計上をしており、市場との乖離が大きかった。

Q 適正な予算設定はなされていたか。

A 見積りとの乖離は否めない。

Q 過去の委員会でも資材高騰を含めた指摘をしてきたが。

A 急激な変化に対応できていなかった。

町執行部としては、「今後は現在の物価情勢に合わせた設計単価を用いる選択をせざるを得ない。一定の追加の補正予算が必要である。」

(※10月14日定例会で議決) 継続してコスト削減に努めて執行していきたい」とのこと。

委員会としては内容を確認し、新庁舎完成までの継続調査案件とした。

委員からの確認事項

Q 入札が遅延したのでは。

A 並行して別館解体発注、開発行為の申請、制限付き一般競争入札に関して初めてだったため、事務研究の期間を要し、特段遅れたとは執行側は判断していない。

Q 不落下についての要因は。

○設計業者実績による建設物価等採用事例もあり、公共工事における

見解としては、設計業者の入札不落の原因として、設計業者の実績による建設物価等採用事例もあり、公共工事における



令和4年8月臨時会・9月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対 -は退席(棄権)

議案番号	議案件名	平田康範	川副剛	横田博茂	永田勝美	長谷川忠	阿部豊	永安文男	橋本義雄	須藤敏規	淡田邦夫	評決数	結果
57	工事請負契約締結の件 (令和4年度 町民体育館屋根外壁改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は採決に 加わりません	9対0	原案可決
発議3	決算審査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
発議4	タブレット端末導入調査特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
58	佐々町議会議員及び佐々町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
59	職員の育児休業等に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
60	令和3年度 佐々町一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○		8対1	認定
61	令和3年度 佐々町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○		8対1	認定
62	令和3年度 佐々町介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
63	令和3年度 佐々町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○		8対1	認定
64	令和3年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
65	令和3年度 佐々町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	認定
66	令和3年度 佐々町水道事業会計利益の処分及び決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決及び認定
67	令和3年度 佐々町公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決及び認定
68	令和4年度 佐々町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
69	令和4年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○		8対1	原案可決
70	令和4年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
71	令和4年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
72	令和4年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
73	令和4年度 佐々町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
74	令和4年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
75	佐々町教育委員会委員の任命について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	同意
請願1	消費税インボイス制度の実施延期を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	×		8対1	採択
請願2	ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持をはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	採択
意見書2	地方財政の充実・強化に関する意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
意見書3	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
意見書4	ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善と義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
76	令和4年度 佐々町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決

※議案 57号は8月臨時会・発議3号以降は9月定例会議案です。

5人が
登壇

町政の方針を問う

活かそう
町民の声

須藤敏規 議員(一問一答) …………… 10

- ① 地域をつなぐ道づくり
- ② 公営住宅の適正な維持管理

永田勝美 議員(一問一答) …………… 11

- ① 町政の基本姿勢について
- ② 小中学校給食の無償化に向けた取り組みについて
- ③ エネルギーの地産地消について

横田博茂 議員(一問一答) …………… 12

- ◇ 消防団活動について
- ① 今後の対策・人材確保と、その他問題点について
- ② 消防設備に関して
- ③ 消防団装備の拡充について

川副 剛 議員(一問一答) …………… 13

- ① 1歳児までのおむつ補助について
- ② 町内会のあり方について
- ③ 町長在任13年の実績・総括と残任期3年の方針について

橋本義雄 議員(一問一答) …………… 14

- ① 文化財・伝統文化について
- ② 農業政策について
- ③ 特産品の開発について



おくち小浦御旅所・神楽 令和4年10月8日(土)

◎一般質問の記事について 質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法 【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

地域をつなぐ道づくり 進まない道路整備

身近な生活道路の整備が進んでいないと思うので、維持管理や整備改善について、計画的に進んでいるのか質しました。



須藤 敏規

■ 質問

令和元年度に道路網の整備計画が作られているが、どのように進めているか。

■ 建設課長

全路線の重要度と危険度を数値化して優先度を整理しています。しかし、中央海岸線のバイパス路線については、用地の問題や多額の費用がかかるので、補助制度の活用を含めてする必要があります。

■ 質問

計画では、AランクからDランクに分けされていますが、重要度は、交通量が多い、少ないで決めるのか。

■ 建設課長

整備優先路線として、15路線あります。順次対策を行っています。例えば、横断歩道の減速対策や危険な個所の面工事などです。

BランクからDランクまでの路線は、328路線あります。これについては、地元の要望内容や現地の状況を見ながら対応していきます。

■ 質問

要望をしないとBからDは、なかなかならないということか。

■ 建設課長

確認した結果で危険等があれば、対応をしていきたいと考えております。要望がないからしないということではありません。

適宜必要性を判断して柔軟に対応していきます。



公営住宅の維持管理を質す

計画的実行はすすんでいない

公営住宅の長寿命化計画に建て替え計画がありますが、準備作業がどの程度進んでいるのか、その取り組み状況について質しました。

■ 質問

里山、里山第2、牧崎団地など192戸の建設場所、戸数の計画がどのように進んでいるか。

■ 建設課長

計画的な実行は、進んでいません。

大規模な自然災害の影響も考えて、ハザードエリアとの関係、浸水想定区域なども含めて検討していかなければと考えています。

■ 質問

計画倒れとなるのではないか。

4つの団地は、入居者募集をやめている。政策空家とし

て30戸在る。建物は老朽化し、空家がずっと続いている状態。町内会自体は、今後閑散としていきます。空家は管理していない状況で、草は、ぼうぼうとしています。

今の段階で場所の選定とか、何戸必要なのか。町内会との話し合い、入居者との了解を得るとか、どの段階まで仕上げようとお考えか。

■ 町長

人口、世帯数など十分に研究しながら取り組みをやりたいと考えております。

そのほかで次の事項を質問しました。

① 公共施設等の有効活用と適正管理について

必要な公共施設をどう生かすかということで、財源は、どうするのか。

② 適切な学校施設の維持・管理について

学校施設の長寿命化計画は、あるのか。

行動計画を裏付ける財政計画を示すべきではないか。



永田勝美

給食費無償化なぜやらない

前回に続いて給食費の無償化を行うべきという立場から、質問をしました。憲法26条は義務教育を無償化すると定めています。今回の質問では、「町長はそもそも給食費無償化は必要と考えているのか」と、質問しましたが明確な答弁はありませんでした。

物価値上げの中で給食無償化の願いは切実

無償化には5900万円かかり町としてはきびしい

■質問

子育て世帯の町民のくらしはきびしいものになっている。実質賃金は17年連続で下がり、その上に物価の値上げが家計を直撃している。消費税も上がったままだ。

全国では、いま給食費を無償化する自治体が続々出てきている。「暮らし一番」というならば佐々町こそ無償化を進めるべきだ。

■町長

私としては、国や県が無償化を認めているのならそういうお願いもして、無償化したいです。しかし、小さな町で固定経費として5,900万円というのはなかなか厳しいのではないかと思います。

給食センター建設を凍結すれば、10年分の費用が出るのでは

建設を中止して無償化に結びつけるのはなかなか厳しい

■質問

給食センター建設の費用が急騰する見通しとなっており、建設が遅れている。そうであれば一旦建設を凍結してはどうか。少なくとも給食費の10年分が出てくるのではないか。

■町長

給食センターは具体的にならず、申し訳ございませんが、それを無償化に結びつけていくのは、ちょっと厳しいのではないかと考えております。

統一協会問題・「国葬」について基本姿勢を問う

統一協会等との関わりをもつべきではない

町政の基本姿勢について、国民的な議論となつている「国葬」問題。統一協会と政治家との関係等について、質問しました。(一部略)

■質問

国葬については、憲法にも法律にも規定がなく、憲法第14条「法の下の平等」に反するのではないかと同時に、はしなくも社会問題としてクローズアップされた統一協会と自民党をはじめとした政治家との不適切な関係など見れば、国葬への「何らかの対応」を町民に求めることはあつてはならないのではないかと。

■町長

国葬については、「国の決定事項」となっておりますので、粛々と対応すべきだと考えております。統一協会との関わりについては、関わりをもつべきでなく、もつ事はないと思っております。

エネルギーの地産地消について

佐々町で年間に数千円もの電気代値上げの影響が出ています。昨年来検討を求めている、カーボンニュートラル対策、エネルギーの地産地消の取り組みについて質問しました。

■質問

自然再生エネルギーを活用

した取り組みは、太陽光パネル・小型風力・小水力・バイオマスなど数多くの検討テーマがある。各地で優れた取り組みが具体化されつつある。国がやってくることを待つだけでは決して安心のまちづくりはすすまないと考えられる。町としての具体化研究を推進すべきだ。

■町長

本町にとって大変重要な課題と認識しています。今年度策定する地球温暖化(対策)の「実行計画」の事務事業後に、計画の施策編を策定し、検討研究をさせていただきたい。事業所を含めた推進体制を構築していかなければならないと考えております。

以上のほか

- 町内交通の充実について、高齢者外出支援のタクシー代助成町内循環バス。○新型コロナウイルス対策とくに後遺症対策。
- 小中学校トイレへの生理用品配置について。○町立保育所の人材確保について。などの質問を行いました。紙面の関係で省略します。

佐々町消防団活動について

人材確保の課題に向け協議しながら情報発信をおこなっていく



横田 博茂

今後の対策、消防設備に関して、装備の拡充について

人材確保と、その他 問題点について

■ 質問

人材確保に関して、具体的にどのようなことに取り組みられているのか。また今後、どのような課題を想定しているのか。

■ 町長

消防団員確保は、重要な問題と認識しており、年2回の消防団新聞を作成し、各世帯に配布し周知しています。また、町内会行事へ参加しての募集活動、新築された方への訪問などをしていきます。今後の課題として、どのようにして、より多くの住民の皆様に参加や必要性を周知できるかを、消防団と協議しながら、情報発信していきます。

消防設備に関して

水利は充足している状況です。

■ 質問

近年、中山間地域における住宅建設が多くなった。最近

の建設状況の変化には、対応できるのか。消防水利は、距離的に不備はないのか。

■ 総務課長

地域分団と情報交換しながら、必要であれば、設置を行うことも、検討しなければならぬと考えています。



消防団装備の拡充について

消防分団長会とも必要性について協議をおこなう

■ 質問

佐々町には冠水などに備えた救助用ボートなどの装備はあるのか。

■ 総務課長

長さ4m、幅1.5mで780kgほどのアルミ製ボートが一艇あります。

■ 質問

長崎大水害から40年の機会と、近隣自治体の成果に習い、消防団に軽量の救助用ゴムボートの配備を検討できないか。

■ 総務課長

消防分団長会等で必要性を協議しながら研究させていただきます。

消防団人材確保の 取り組み方について

必要な取り組みについては検討してまいります

■ 提案

仮にボートが配備されれば、町民への防災啓発活動にも、また消防団にも、有効な利用価値が生まれる。夏休みなどを利用して、特に学生を対象に、消防団主催の水に関する防災教育を実施する。やり方次第では、防災イベントになる可能性もある。若い世代の水辺に係る事故を未然に防ぎ、町民一人一人の関心へとつながること、自主防災組織活動の活性化にもつながる。

防団主催の教育事業は、各分団より数名選出して、全分団のチーム活動とすることで、分団員レベルの交流になり、各分団のよき、連携強化も図れる。また、慢性的な団員の確保という課題は、幼少期からの継続した、未来型の体験学習をおこなうことで、「地域のためになる活動」と、町民のみなさんに認知され、加入促進が見込まれる。加入促進に向けた具体的な取り組みとなるのではないかと。

■ 町長

消防団員の確保、地域住民のみならずへの防災意識向上は、重要な事項と考えています。先進事例を研究しながら、協議を行い必要な取り組みについて検討します。





川 副 剛

1歳までのおむつ補助はできないか

おむつ支援については目的などを整理し研究していきたいと思っております

物価高騰の波が家計を圧迫している。
子育て世代の家庭でのおむつ代の負担軽減はできないかと思い質した。

■ 質 問

保育施設では1日5枚おむつにマジックで名前を書き、持参しなければならぬ。保護者の手間であり、1歳まで町が補助できないか。

■ 町 長

現時点では考えていません。

■ 質 問

保育施設等に預けていない家庭におむつ定期便をつくり、配達できないか。ママさんの孤立防止の側面もあるが。

■ 住民福祉課長

子育てで孤立することのなような見守り支援の在り方について研究を深めさせていただければと思っております。



町内会のあり方について

住民自治における福祉の向上を担う重要な組織であると認識しています

町内会は、住民同士が助け合いながら協力し合って、住みやすい地域づくりの中心的な存在となるものだが、近年少子高齢化により、今後深刻な先細りが予想されるため、あり方を質した。

■ 質 問

ゴミ集積所については運営費用は町内会費から捻出しており、加入者だけの負担になっていない。町内会に加入しないほうが、面倒ごとがないなどが、皆が感じれば、加入世帯も減り、一人ひとりの負担が増える悪循環に陥るのでは。

■ 町 長

町内会の加入についての条例を整備している他自治体もあり、先進事例というものを

十分研究させていただきたい。

■ 質 問

町内会費を払っていない人が分別してないゴミを出し、町内会の方々が分別をしたり、不公平や不条理もおきている。家を新築しても、町内会に入らない方も多く、もはや性善説ベースのきれいな事では済まなくなっている。若者だけでは支えきれない町内会はどうするのか、統廃合し行政が管理をするのか、など今後いろんな方向性を模索する必要がある。行政が我関せずではなく、後押しをすべきでは。

■ 町 長

貴重な御意見だと思っておりますので、検討・研究させていただきます。

■ 意 見

高齢者の方には安心して年をとれる佐々町にしたい。

町長在任13年の実績と総括は 町長の今後の方針は

■ 町 長

子育て支援では、保育料の国の基準からの引き下げ、地域子育て支援のぷくぷくクラブ、一時預かりのありす、小児発達専門外来の開設、福祉医療費を高校生まで拡充、学校給食費の負担の軽減、でんでんパークの建設など

教育支援では、外国語指導教諭の増員、小学校へのエアコン設置など

高齢者支援では、タクシードット助成、元氣カフェぶらっと開設など

ハード面では地域交流センターの建設など行いました。

今後の任期も「子育て支援」「高齢者支援」「農業振興」「商工業の振興」に力をいれていきたいと思っております。

■ 意 見

町長の様々な施策が実を結び、その結果人口が減っていないことにつながっていると思う。残りの任期も頑張りたい。



橋本 義雄

公民館にまとめて保存を考えている



大事な郷土の資料適切な管理を

■ 質問

前佐々町郷土資料館にあつた収蔵品は、検討委員会で何か仕分けをされたことは聞いているが、その後どう管理されているのか。又、今後郷土資料館を建設されるのか、どのように管理されるのか。

■ 教育長

新たな郷土資料館の建設は行わず、公民館等になるべく早く移動する必要があると考えています。

■ 質問

預かりの収蔵品はいくらあるのか、又どう管理されているのか。

■ 教育長

借受け品は13品目で、返してほしいという申出があった

分については、お返しをし、そういったものについては電子データとして保存をするというふうに思っています。

伝統行事おくんちについて

■ 質問

佐々町の伝統行事としておくんちがあり、おくだり、御旅所での踊りとにぎわつていたわけですけど、コロナ感染症拡大防止の為、3年間中止となっております。佐々町の地域婦人会、敬神婦人会の踊りさんも高齢者の方が多いわけです。そうした中、これを復活させるのはなかなか厳しいというふうに思いますが、町長はこれをどう存続し続けていくのか。

■ 町長

佐々町の伝統行事というところで、大変大切な行事ですが今はコロナ感染症が収まらないうとかなかなか厳しい。しかし町の伝統行事としてこれを絶やさないように、我々も一生懸命やっていきたいと考えております。

農業政策について

■ 質問

佐々町「一人・農地プラン」が作成されました。各地区の現状を見てみますと、8割から9割が高齢者で、その地区の農業を守っておられます。その地区の課題についてこれからどのように取り組んでいけるのか。

■ 町長

国、県の支援・補助を受けながら町としても一生懸命に取り組んでいきたい。



伝統文化で地域とふれあい、郷土愛

特産品の開発について

■ 質問

佐々川を中心とした観光や交流イベントの情報発信・交流拠点整備事業として、佐々駅舎を改修され、特産品の開発など進めておられます。そこでその一つとして、佐々川の恵みとして、シロウオの塩辛、シロウオの冷凍食品を季節限定として、佐々町の特産品に加えたらどうか。

■ 町長

佐々川の恵みであり大切な資源でありますので検討させていただきます。



高齢者に配慮した農地の整備が必要

県への要望活動を行う

- ◆期 日 令和4年10月6日
- ◆場 所 長崎県庁
- ◆出席者 正・副議長
町長、副町長、
理事、関係課長
- ⑫ 佐々川の水利権見直しと
拡大に向けた協議の場設定
について

大石知事ほか県幹部に対し、
要望書を提出し、「地すべり
対策」と「西九州自動車道の
整備促進」の重点要望項目
について町長より内容説明を
行いました。

- ① 福祉医療費制度の助成対
象範囲の拡大について
- ② 医療保健制度の安定運営
の確保について
- ③ 佐々町におけるごみ処理
の確保に対する県の支援に
ついて
- ④ 有害鳥獣対策について
- ⑤ 新規就農者支援対策につ
いて
- ⑥ ため池整備促進について
- ⑦ 地すべり対策について
- ⑧ 西九州自動車道の整備促
進について
- ⑨ 国道204号の歩道整備
について
- ⑩ 二級河川木場川整備につ
いて
- ⑪ 二級河川佐々川整備につ
いて



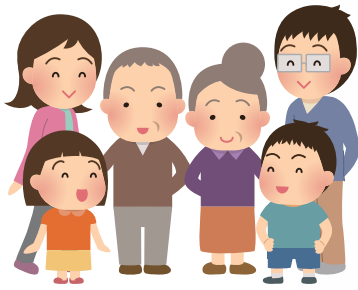
要望された項目は重要であ
り、しっかり対応を検討する
と知事より回答を得ました。
また、県議会棟へ移動し、
中島議長へ同じ要望書を提出
し、意見交換をしました。

川棚町議会視察研修報告

- ◆日 時 令和4年8月2日
(火曜日) 13時30分
より
- ◆場 所 川棚町役場
大会議室A・B
- ◆出席者 本町議員10名
議会事務局3名
総務課1名
- ◎視察研修事項
- ①タブレットの運用につい
て
- ②議会基本条例の制定につ
いて
- ③新庁舎建設について
(新庁舎見学)
- ◇研修内容
- ①タブレット端末に関連す
る会議規則、運用基準や
導入後の状況の説明を受
けました。
- 議案書などはペーパー
が主体で、資料関係はタ
ブレットを優先し、コロ
ナ禍を考慮しオンライン
会議などを行っているこ
とでした。
- ②議会基本条例は、議員活
動や議会運営を基本とし
「身近な議会」を目指し、
検討、協議を重ね、全議
員で取り組むことにより、
住民福祉の向上をめざし
て作成されたとの説明を
受けました。
- ③川棚町庁舎は昭和32年建
設後、約60年経過し耐震
機能の基準を満たしてい
ないなどの理由で、今回新
築されたとのことでした。
- 新庁舎は災害・台風時に
は総務課執務室が災害対策
本部となり、町内4箇所
に(河川を含む)監視カ
メラが設置され、執務室の
モニター画面で状況監視を
行うとの説明を受けました。
- 本町にも新庁舎に、河川
を含む監視カメラ導入の必
要性を強く感じました。



川棚町議会視察の様子



町民の皆様からよせられた

「声」ご意見！！

※原文のまま掲載しています。

太陽光発電及び蓄電池設備について

神田免 松尾 延子

新庁舎建設時に太陽光発電及び蓄電池設備を是非設置してください。

1. 電気代の節約
2. 災害で停電の時、電気が使用できる
3. 天然資源の消費を節約できる

佐々駅ホーム石段に手摺りをありがとう

小浦免 敦賀 節子

乗降の際不安のあったMRが付けられました。町議員の御働きによります。高齢の一町民の声を汲みとって下さり有難うございました。

町議会の改革推進

須崎免 宮崎 勝紀

令和4年度から始まっている、4つの大型プロジェクト（町の大黒柱）庁舎建設、公共下水道、し尿前処理施設、給食センター事業に関心を持って、3・6・9月議会も傍聴しての感想を申し述べます。（一部記載ミスで投稿遅れ）

財政施策のR4年度（4月時点）の当初予算案では、一般会計で、前年度比36%アップの82億円（28・7億円の増）、（町債（借金）発行、残高54・7億円（11・5億円の増）、基金（預金）―6億円の減少。給食センター（9月時点で未定）。上下水道事業の赤字（5・8億円、留保資金での補填）、血税による、長期に渡る利息の支払い、次世代まで付けを残しての施策、現時点での予算総額は138億円と莫大予算計画

も、財政は逼迫した状況で、充実・強化、健全化並びに経費節約が求められる。この一番重要な計画に対し、議会での子細に渡る意見陳述が殆どなく、大変残念です。

今日の日本経済状況は、消費税アップ、物価高（インフレ）、公共料金アップ、医療費アップ、年金のダウン等大変状況です。

この様の中で、インフラ整備事業とは言え、一度に4つの大型プロジェクトを立ち上げる施策に違和感があります。また、数十億円の資本投資に対し、執行部と対峙して議論するには、多岐に渡った資料（統計・数値・図表）を模索し「検討」に終始しないよう、熱心な討議が必要です。

従って、数十年に渡る現在の町議会方式に「メス」を入れて、議会改革推進し、今は、IT化、デジタル化時代、慣習に固執する事なく、デジタル色生かした斬新なアイデアを出し、緊張感ある議会「ヤル気」次第で活性化

し、盛り上がり、議会が一変すると思われれます。

一方、国に於いても、デジタル省を設置、地方自治体への要請も時間の問題です。新庁舎建設を機に経費節約の一端を担うソフト開発を行い、デジタル化予算を有効活用する事が肝要です。

「佐々町丸」の安全航行できるように舵取りをお願いします。

これでいいのか、新庁舎

平野免 藤永 諭

新庁舎建設に向けて、町民の声を反映するとして、パブリックコメントやワークショップが順次実施され、今年度いよいよ本格工事が進められています。総工費25億とも27億とも言われる、巨大プロジェクトです。

但、その実態は、いわば大盤振舞の様相を呈しているようです。庁舎概要によると、行政の実務スペースに加え、町民の要望と称して「イベン

トホール」や「コミュニティスペース」他「お花見プラムナード」「さざの丘」等々の目的や必要性が、必ずしも明確でないものが散見されます。当然そのことによる、建設費の高騰は避けられません。

近年、SDGS・サステナビリティ等が世界的な潮流の中、更には将来的な人口減少に伴う、税収減が危惧されている今、過度な負担を将来世代に、先送りして良いのでしょうか。

住民サービスの、そして防災の拠点として、持続可能で身の丈に合った、適切なものにならなければなりません。

今となっては、手遅れ感はありませんが、これから数件の大型事業が控えているようです。二度とこの様な事態を招くことのないように、町民一人一人が、町政にもっと関心を示すと共に、行政を含めた意識改革が求められます。

「インターンシップを通して」

長崎県立大学3年

田崎 元隆

私は8月22日から9月2日までの2週間、佐々町議会事務局でインターンシップを体験させていただきました。

主な業務の内容としては、臨時会やその他会議の設営や準備・片付け、会議録の作成などを行い、実際に臨時会を議場で身を持って体験したり、議員さんのご自宅へ訪問させて頂いたりもして、貴重な体験をさせていただきました。

会議で扱う書類の印刷や作成の仕方など、基本的なことから丁寧に教えていただき、1つ1つの小さな業務にも、細かい点まで気を配らないといけないと業務を行う中で感じる事が出来ました。

また、議員の方々をはじめ

め、佐々町役場の職員の方々から、町民の方たちや佐々町が少しでもより良いものになるようにという意識を感じる事ができ、自分

も将来誰かのために働くことが出来るような人になりたいと素直に思いました。この2週間のインターンシップを通して、議員さんや役場職員の方など多くの方にお世話になりました。特に事務局の方々には、温かく接していただき、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にあ

りがとうございました。今回のインターンシップでの経験を今後の自分に活かしていこうと思います。



5日	4市1町西九州自動車道建設促進協議会 理事会	21日	9月定例会(20日目) 決算審査特別委員会 (第1回)
6日	議会広報委員会		タブレット端末導入調査
13日	議会広報委員会	22日	特別委員会(第1回)
14日	全員協議会	22日	9月定例会(3日目)
19日	議会広報委員会		議会運営委員会
22日	議会広報委員会	26日	決算審査特別委員会 (第2回)
29日	産業建設文教委員会	27日	決算審査特別委員会 (第3回)
	4市1町西九州自動車道建設促進協議会 総会	28日	決算審査特別委員会 (第4回)
2日	先進地視察研修(川棚町)	29日	決算審査特別委員会 (第5回)
4日	産業建設文教委員会	30日	決算審査特別委員会 (第6回)
8日	総務厚生委員会		
19日	全員協議会		
22日	4市1町西九州自動車道建設促進協議会 要望活動	10月	
	(佐賀県知事・佐賀県議会 議長・佐賀国道事務所・長崎県知事・長崎県議会議長・長崎河川国道事務所)	6日	長崎県知事・県議会議長への要望活動
24日	長崎県後期高齢者医療広域連合議会 定例会	7日	決算審査特別委員会 (第7回)
29日	総務厚生委員会	11日	新庁舎建設に関する調査特別委員会
30日	議会運営委員会 第2回臨時会	12日	全員協議会
		14日	議会運営委員会
		19日	9月定例会(4日目)
		24日	タブレット端末導入調査特別委員会(第2回)
9月			4市1町西九州自動車道建設促進協議会 要望活動 (九州地方整備局)
1日	産業建設文教委員会		
8日	産業建設文教委員会		
13日	議会運営委員会		
13日	議会広報委員会		
20日	9月定例会(1日目)		

佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

次回定例会の傍聴ご案内

12月を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

9月定例会の傍聴者数は16人でした。

町民の声を募集中!

TEL 62-2101
FAX 63-5398

議会広報委員会からのお願い



「佐々町議会」の腕章を着用した議会広報委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置してありますので、ご協力をお願いいたします。

編集後記

先日までのキンモクセイの香りに変わって、木の葉の色づきも始まり、秋の深まりを感じる季節となりました。

いま町内では、新型コロナウイルスの第8波を予感させる中で、庁舎建設・ゴミ処理施設の大規模改修・し尿等前処理施設の建設など大型事業が進められています。

一方で、私たちの暮らしをめぐっては「値上げの秋」となっており、町政に求められる課題も山積しています。

この間、町民の皆様から議会だよりに寄せられる、ご意見・ご要望も増えております。

今後とも町民みなさまと議会をつなぐ議会広報誌として充実をはかって参りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

永田 勝美